

Trap-20

<テキスト 92,93 ページ>

科学者たちは、8000年前、地球上のおよそ6000万キロメートル四方の面積が熱帯雨林に覆われていたと見積もっている。現在は、人間の破壊のために3500万キロ四方しか残っていない。この相対的に小さい地域ですら、世界の半分以上と見積もられる1000万種の植物・動物・昆虫を含んでいる。科学者達が持つ相違がとても大きいので、今までずっと、そこに住む種のうち1%未満のものしか研究に成功していない。

問1 文章によると、今日の熱帯雨林の中の()の種が、研究者達によって調査されてきたのだ。

<テキスト 94,95 ページ>

類題演習

のどが渴いたとき、何を飲みますか？1987年から、異なる種類のパッケージされた日本のソフトドリンクの人気は、かなり変化してきた。80年代後半は、すべてのタイプの炭酸飲料(ソーダやコーラのような)が人気上位で、競争相手としては、すぐ後ろにフルーツジュース、そしてずっと引き離してコーヒーベースの飲料だった。しかしながら、2004年から、それらのドリンクがこの市場の最新参画者:あらゆるタイプのお茶ベース飲料に、リードを奪われた。緑茶を含むお茶飲料は、炭酸飲料とコーヒー飲料の両方を越えてリードを取った。お茶ベース飲料の総生産量は、直近の競争者、つまり炭酸飲料とコーヒー飲料のほぼ2倍

である。フルーツジュースは、人気第4位に落ち込み、もっともレベルの高かった80年代後半からほぼ4分の1近くの生産量低下になった。5番目に来るのは、1987年にはお茶飲料を抜いて4位だった、スポーツ飲料だ。ちょうど、緑茶飲料がパッケージ製品になったのと同じ頃、野菜ジュースも市場に表れてきた。彼らはそれ以来、とても小さいながらも、市場の比較的堅実な位置にいたのだった。

問1 グラフの中で、“X”に該当するのはどのタイプの飲料ですか？

①炭酸飲料 ②フルーツジュース ③緑茶飲料 ④フルーツジュース

問2 文章から、どの記述が正しいですか？

- ①炭酸飲料は2004年にはまだ人気を博していた。
- ②コーヒー飲料の生産量は、導入以来劇的に増えていた。
- ③フルーツジュースの生産量は、1987年から低下した。
- ④野菜ジュースは、ソフトドリンク市場の重要な一部に取って代わった。